


<b>令和5年度 基本評価調書</b>		所管部局	保健福祉部	所管課	障がい者保健福祉課、高齢者保健福祉課、子ども家庭支援課		
施策名	高齢者や障がいのある人等の社会参加の促進			施策コード	0415		
政策体系(中項目)	だれ一人取り残さない、だれもが活躍できる社会づくり			政策体系コード	3 (3) A 3 (3) B		
関連重点戦略計画等	知事公約、創生総合戦略、強靱化計画					事務事業数	16
特定分野別計画	北海道地域福祉支援計画、第4次北海道配偶者暴力防止、被害者保護及び支援等に関する基本計画						
SDGs				総合判定	概ね順調		
予算額(千円)	R 5	1,661,665千円	R 4	1,482,963千円	R 3	1,469,348千円	

<b>施策目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が長い人生で培った多様なスキル・豊富な経験を活かし、積極的に社会参加するなど、様々な形で地域に貢献し、元気に活躍できる社会づくりに取り組む。</li> <li>・障がいのある方々が、本人の希望や障がい特性などに応じて、いきいきと働くことができるよう、幅広い就労機会の確保に向けた取組を進めるとともに社会参加しやすい環境の整備を促進する。</li> <li>・配偶者や交際相手等のパートナーからの暴力など、男女平等参画を阻害するあらゆる暴力の根絶に向けて取り組む。</li> </ul>
<b>現状と課題</b>	<p>(高齢者人口増加に伴う生産年齢人口の減少)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者人口が増加し、生産年齢人口が減少する人口構造にあっても、地域の活力を維持・向上させていく必要がある。</li> </ul> <p>(障がい者の就労支援の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある人の民間企業における実雇用率は、全国平均を上回っているものの、多くの企業が法定雇用率を達成していない状況であるため、就労支援の充実・強化を図る必要がある。</li> </ul> <p>(配偶者からの暴力を始めとした男女平等参画を阻害するあらゆる暴力の根絶)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等参画の実現を阻害するあらゆる暴力が根絶されることを目指して、配偶者からの暴力の防止に向けた啓発や被害者等の支援のための取組を推進する必要がある。</li> </ul>
前年度二次評価意見	-
対応状況	-

〈主な取組〉

<b>今年度の取組</b>	<p>(高齢者人口増加に伴う生産年齢人口の減少)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブシニア等がこれまで培った経験や技術を活かして地域で活躍してもらおうと同時に、本人の社会的役割や自己実現につなげることができるよう支援することを目的に、多様な社会活動を紹介するセミナー等の開催や、セミナー受講者等を地域活動へ橋渡しする地域活躍支援コーディネーターの配置</li> </ul> <p>(障がい者の就労支援の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉事業者と地域産業事業者のマッチング</li> </ul> <p>(配偶者からの暴力を始めとした男女平等参画を阻害するあらゆる暴力の根絶)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次北海道配偶者暴力防止、被害者保護及び支援等に関する基本計画に基づき、関係機関、団体と連携を図りながら、配偶者からの暴力の防止、被害者の保護や自立のために切れ目のない支援を進めていく。</li> </ul>
<b>実績と成果</b>	<p>(高齢者人口増加に伴う生産年齢人口の減少)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域(14地域)でセミナーを開催した他、地域活躍支援コーディネーターを配置した。 (【セミナー】R4:14地域、計39回開催 【コーディネーター】R4:14地域、12名配置)</li> <li>・地域活躍支援コーディネーターがセミナー受講者等を中心に希望する地域活動への橋渡しを実施し、社会参加活動への参加が図られた。(R4:活動に繋がった件数16件)</li> </ul> <p>(障がい者の就労支援の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定法人による就労支援事業所の経営改善や受注拡大、販路の確保拡大等の取組を行い販路拡大し工賃向上を図る。(第1四半期98件)</li> </ul> <p>(配偶者からの暴力を始めとした男女平等参画を阻害するあらゆる暴力の根絶)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DV相談業務の実施(R4:3,084件(暫定)、R3:3,403件、R2:3,066件)</li> <li>・配偶者暴力被害者の自立支援に関わるサポーター等を対象とした研修会の開催により、職務関係者の資質向上が図られた。(開催地(参加人数):函館(41名)、旭川(23名)、帯広(48名))</li> </ul>
参考HP①	
参考HP②	
参考HP③	

**令和5年度 基本評価調書** 【3(3)A 3(3)B\_0415】高齢者や障がいのある人等の社会参加の促進

＜指標分析＞ ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
障がい者の実雇用率（民間企業） （暦年）		目標値	2.3	2.3	2.3	2.5	106.1%	A
		実績値	2.35	2.37	2.44	—		

**設定理由** 障がいのある方々が仕事に従事し、地域で活躍できる社会の状態を測る指標であり、障がいのある人の就労支援の充実・強化への課題の取組に関する成果を測る指標として設定。

**指標公表時期** 毎年調査、11月頃公表 **出典（根拠計画等）** 厚生労働省北海道労働局「障がい者雇用状況の集計結果」（北海道総合計画）

分析（主な取組と成果）

・最新の数値は令和4年6月1日現在  
 ・北海道労働局をはじめ関係機関と連携した雇用促進により、企業における障がい者雇用が促進され、実雇用率は改善している。

指標名②			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名③			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

＜取組分析（連携状況、緊急性・優先性）＞

連携状況	(課題) DV被害者の保護・支援に当たっては、関係機関や民間団体との連携が必要である。
	(取組) DV被害者保護・未然防止のため、関係機関や民間団体を構成員とした関係機関連絡会議を毎年開催している。
緊急性 優先性	(課題) 広範な面積を有する北海道では、DV被害者への相談・支援を担う民間シェルターが重要な役割を果たしているが、運営基盤が脆弱かつ不安定である。
	(取組) DV被害者保護・支援に民間シェルターの活動は不可欠であることから、民間シェルターの運営に対する財政措置について、必要な要望を国に対して実施している。

＜取組分析（その他の統計数値等）＞

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
配偶者暴力相談支援センター、民間シェルターへの相談件数	R1:6,898件	R2:6,784件	R3:7,795件
分析等			
(課題) 男女平等参画を阻害するあらゆる暴力の根絶に向け、配偶者暴力の被害者が相談しやすい体制づくりを通じて、被害者の潜在化を防止する必要がある。			
(分析等) 相談件数だけでは配偶者暴力被害者の全体数を把握することは難しいが、民間シェルターにおいて、SNS・メールを活用した相談を行うとともに、若年層を対象としたDV防止講座を開催するなど、相談窓口の周知に努めている。			b
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
対象事業所の平均工賃月額	R1:19,078 (目標30,610)	R2:19,202 (目標30,610)	R3:19,096 (目標30,610)
分析等			
(課題) 就労継続支援B型事業所における平均工賃が地域生活を送る水準に達していない。			
(分析等) R1～R3について、商品開発に関する研修会や個別経営相談会等を開催（コロナ禍でのオンライン開発を含む）し、継続的なアドバイスにより製品化、工賃向上につながると考えており、実際に平均工賃は毎年向上している。 R4年度分は調査中、利用者は去年よりは増加傾向にあるので今後分析を進めていく。			c
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
アクティブシニア等の研修会の受講者数	R2:1,293 (目標6,300)	R3:816 (目標1,000)	R4:1,361 (目標2,000)
分析等			
(課題) 高齢者人口増加に伴う生産年齢人口の減少が加速しており、高齢者が様々な形で地域の担い手として活躍できる仕組みづくりが必要。			
(分析等) 研修会の受講者数が低下している（特にオンラインによる研修会が顕著）が、対象が高齢者ということもあり、新型コロナウイルスの影響やオンライン操作に不安を抱く高齢者が多くいる状況にあると考えられる。			c

〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	c		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標  
( - )

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた 対応方針	①	(高齢者人口増加に伴う生産年齢人口の減少) アクティブシニア等の研修会の受講により社会参加活動への参加が図られていると考えられることから、研修会の開催方法(サテライト会場の設置など)やオンライン操作へのフォロー対策の工夫により、引き続き研修会を実施する。
	②	(障がい者の就労支援の充実・強化) 北海道労働局をはじめ関係機関と連携した雇用及び多様な働き方を推進しつつ、就労支援事業所の工賃について、指定法人を中心として障がい者就労施設等の製品の販売機会の確保や地域の特産品を生かした商品開発等を行うことにより、向上に取り組む。
	③	(配偶者からの暴力を始めとした男女平等参画を阻害するあらゆる暴力の根絶) 関係機関、団体と連携を図りながら、配偶者からの暴力の防止、被害者の保護や自立のために切れ目のない支援を進めていく。

〈二次政策評価〉

二次政策評価	
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	高齢者や障がいのある人等の社会参加の促進	施策コード	0415
----------------	--	--	--	-----	----------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0911		一般	身体障害者補助犬育成事業費補助金	身体障がい者の就労や日常生活等を支援する身体障害者補助犬の育成等に助成する。	障がい者保健福祉課	0	12,600	6,300	0.3	0.00	0.3	14,952			
0913		一般	中途視覚障がい者社会適応推進事業費	中途視覚障がい者を対象に失明間もない時期に社会生活適応訓練を行う事業者に対し補助する	障がい者保健福祉課	0	1,760	880	0.1	0.00	0.1	2,544			
0917		一般	手話通訳者設置事業費補助金	各総合振興局(振興局)社会福祉課及び当該団体に手話通訳者(非常勤)を設置する事業に対し補助する。	障がい者保健福祉課	0	50,124	25,062	0.2	0.00	0.2	51,692			【事務事業のコスト】道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。
0918		一般	市町村地域支援事業費補助金	市町村地域生活支援事業に対し補助する。	障がい者保健福祉課	0	1,154,410	1,154,410	0.6	4.00	4.6	1,190,474			
0919		一般	視覚障がい者情報提供施設運営費補助金	点字刊行物・録音物の製作及び貸出を行う施設に対して補助する。	障がい者保健福祉課	0	70,305	36,342	0.2	0.00	0.2	71,873			
0920		一般	聴覚障がい者福祉推進事業	聴覚障がい者及び言語機能障がい者の福祉向上のための事業を実施する事業者に対し補助する。	障がい者保健福祉課	0	1,838	919	0.2	0.00	0.2	3,406			【事務事業のコスト】道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。
0921		一般	視覚障がい者福祉推進事業	視覚障がい者の福祉向上のための事業を実施する事業者に対し補助する。	障がい者保健福祉課	0	1,336	668	0.2	0.00	0.2	2,904			
0922		一般	身体障がい者福祉総合推進事業	身体障がい者の福祉向上のための事業を実施する事業者に対し補助する。	障がい者保健福祉課	0	5,862	2,931	0.2	0.00	0.2	7,430			
0923		一般	聴覚障がい者情報提供施設運営費補助金	聴覚・言語に障がいのある方の意思疎通を支援する施設に対し補助する。	障がい者保健福祉課	0	24,399	12,934	0.2	0.00	0.2	25,967			
0924		一般	障がい者社会参加総合推進事業費	在宅の障がい者を中心とした社会参加の推進を図るため、道及び団体において事業を行う。	障がい者保健福祉課	0	37,044	18,522	0.4	0.00	0.4	40,180			
0910		一般	障害者就業・生活支援センター事業	障がい者の職業的自立を実現するため、就職面と生活面の支援を一体的に行う。	障がい者保健福祉課	0	74,519	37,260	0.8	0.40	1.2	83,927			
0912		一般	知的障がい者援護促進事業費補助金	地域で障がい者を率先して雇用している企業等の有する知識や経験及び人材資源を有効活用し、障がい者の就労促進と社会的自立を図る活動への助成	障がい者保健福祉課	0	831	516	1.0	0.00	1.0	8,671			
0914		一般	障がい者就労支援推進事業費	北海道障がい者条例に基づき、知事の指定する非営利法人及び道による障がい者の就労支援に関する業務の推進。	障がい者保健福祉課	0	9,245	4,623	1.1	0.20	1.3	19,437	②	改善(取組分析)	
0915		一般	農福連携促進事業	障がいのある方の工賃向上を図るため、障がい福祉サービス事業所の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む事業所による販売イベント等を開催する。	障がい者保健福祉課	0	10,915	0	0.3	0.00	0.3	13,267			
0916		一般	地場産業障がい者就労促進事業(地プロ)	水福連携など福祉と地場産業との連携を促進し、人手不足が深刻な地域の水産加工業をはじめとした地場産業において障がいのある方の就労を促進する。	障がい者保健福祉課	0	4,954	991	0.3	0.00	0.3	7,306			
1039	04111	一般	介護予防・生活支援サービス等充実支援事業費	市町村が、介護予防・日常生活支援総合事業における多様な介護予防・生活支援サービスを充実できるよう、生活支援コーディネーターの養成等による自立支援・重度化防止に向けた新たなサービスの担い手や多様なサービスの創出に係る取組みを支援する。	高齢者保健福祉課	0	29,528	0	0.7	0.90	1.6	42,072	①	改善(取組分析)	
0626		事務	女性相談援助に関する事務	女性保護等の行政事務	子ども家庭支援課	0	0	0	0.4	3.9	4.3	33,712			

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0627		一般	配偶者暴力被害者支援対策費	配偶者暴力の防止や被害者に対する支援等を行う事業	子ども家庭 支援課	0	44,018	23,627	1.6	10.9	12.5	142,018			
0628		一般	配偶者暴力被害者等支援事業費補助 金	配偶者からの暴力被害者等の支援の充実を図るため、民間エン ジェルターの先進的取組に対する経費の補助	子ども家庭 支援課	0	56,458	14,115	0.1	0.0	0.1	57,242			
0629		義務費	女性相談援助センター管理費 (義務費)	女性相談援助センターの運営に係る事務	子ども家庭 支援課	0	56,522	30,487	0.8	8.9	9.7	132,570			
0631		人件費	男女平等参画推進員設置費	北海道男女平等参画基本計画の各地域での定着に向けた活動 の推進、配偶者暴力被害者相談対応や被害者支援の充実を図 るため、男女平等参画推進員を設置。	子ども家庭 支援課	0	14,997	14,997	0.1	2.3	2.4	33,813			
計						0	1,661,665	1,385,584	9.8	31.5	41.3				